



希望の丘 高田西小学校だよりNo.2

<http://www.nishi.jorne.or.jp/>

E-mail takada-w@jorne.or.jp

令和2年5月14日 発行

子どもの声あってこそ学校！

分散登校という形ではありますが、5月11日から上越市の学校が再開されました。分散登校、特に11時過ぎに家を出て集団登校をする午後の学習…というのは、子どもにとっても保護者の皆様にとっても、そして職員にとっても初めての経験です。非常に不安もありましたが、今のところ大きなトラブルもなく学校生活が行われています。子どもの笑顔がある、元気な声が響く学校は、本当に素敵です。ご家族の皆様、登下校ボランティアの皆様、本当にありがとうございます。通常の学校生活に戻るのももう少しだと思います。よろしくお願いします。



約半数の人数で離れて学習



3年生は金谷山探検も



11:30 午後登校の子ども達



給食は、教室と特別教室を使い、分かれて食べます



午前の2限終了後、笑顔で体育館に入ってきた6年生達がいきました。「何か嬉しいことあるの？」と聞くと、「これから掃除です！」と元気よく答えてくれました。また、「やっぱり学校に来ると楽しい」と口々に言っていました。こんな子どもの姿を見ると、私たち職員にも元気が湧いてきます。頑張ります！

分散登校の経緯と今後の見通しについて (Q & Aの形で)

Q1 どうして、通常の登校ではなく、分散登校という形になったのですか。

A1 分散登校は、いわゆる感染の危険性の高い「3密（密閉空間、密集、密接）」を避けるためにおよそ20人を超えない集団で学習をすることを意図したものであり、上越市教育委員会の判断です。学校をいつから再開するかということも、市町村ごとに決定権があります。

Q 2 学年を分けるのではなく、通学班で分けたのはどうしてですか。

A 2 学年で登校を分ける場合（例えば1．3．5年と2．4．6年）、学年間の子どもへの指示や説明が行いやすいという良さはありますが、次の問題点が予想されます。

- ① 兄弟の登校時間が別々になる場合がある。（不都合となるご家庭が多いと考えました）
 - ② 登校した学年は、どの学級も20人を大きく超えるので、空き教室を利用して分かれる必要がある。それができたとしても、学級担任は一人なので指導が難しい。
 - ③ 低学年だけの通学班もできる可能性があり、不安がある。
- そこで、通学班を生かした2グループにしました。

Q 3 午前の学習は、3限で給食となるのは何故ですか。

A 3 午前学習、午後学習の両方の子ども達に給食を提供したいと考えました。午前で4時間学習をすると、どうしても午後学習の子ども達の下校時刻が遅くなってしまうため、3限としました。

Q 4 毎日学校へ行くことはよいのですが、1日3時間の学習では少ないと感じます。

A 4 大規模の学校や高田西小学校と同規模の学校でも、毎日学校へ行くことが困難であり、週に2，3日しか登校できない学校が、多くあります。週15時間という学習時間の確保は、精一杯の工夫の結果だとお考えください。また、家庭学習の時間は普段より余裕がありますので、自主的に学ぶ習慣を育てるように、計画的に学習課題を出します。

Q 5 Aグループ（城西中学校区）とBグループ（城東中学校区）が、1日おきに午前と午後の学習をするのは、3週間同じように続けるのですか。

A 5 今のところ、同じように続ける予定です。ただし、1日の過ごし方の時間や、午前と午後の1日交替も変更する可能性はあります。少しでもスムーズな学校生活ができるように改善していきます。また、3週間の間に、県や市の判断によって通常の学校生活に戻る可能性もあります。

Q 6 今後、夏休みや今後の行事活動はどうなりますか。

A 6 現在の所、1学期終業式を7月31日（金）としたいと考えています。1学期と2学期の主な行事について、来週中に整理したものをお配りします。

マスクが届きました！

本日（5月14日）布製マスクを1枚ずつ配りました。しばらく期間を開け、また届くそうですので、計2枚ずつということになります。子どもの様子を見て、「手作りマスク」を着けている子が多くなってきたと感じます。これは、マスクが品薄だということと共に、ご家族の愛情が伝わってきます。みんなの力でコロナウイルスを乗り越えましょう。